

## 6 食育への関心、実践状況

食育に“関心がある”人は、男性31%、女性58.3%であった。

食育の実践状況では、“食育の言葉や意味も知っていた”人が、男性22.8%、女性43%、そのうち、“積極的に実践する人”が、男性6.7%、女性7.8%、“できるだけ実践するようしている”人が、男性34.4%、女性54.2%であった。

図64 食育への関心(全県・15歳以上・総数)

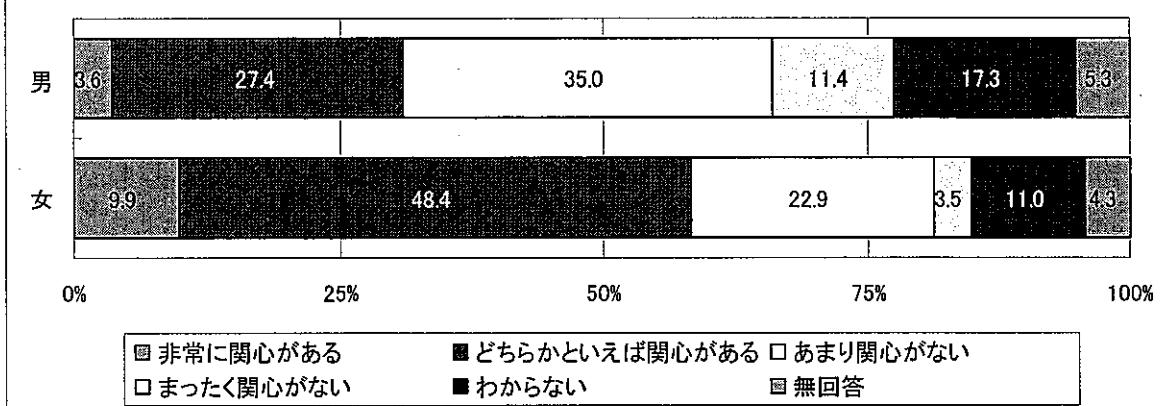


図65-1 「食育」の言葉や意味を知っている人の割合(全県・15歳以上・総数)

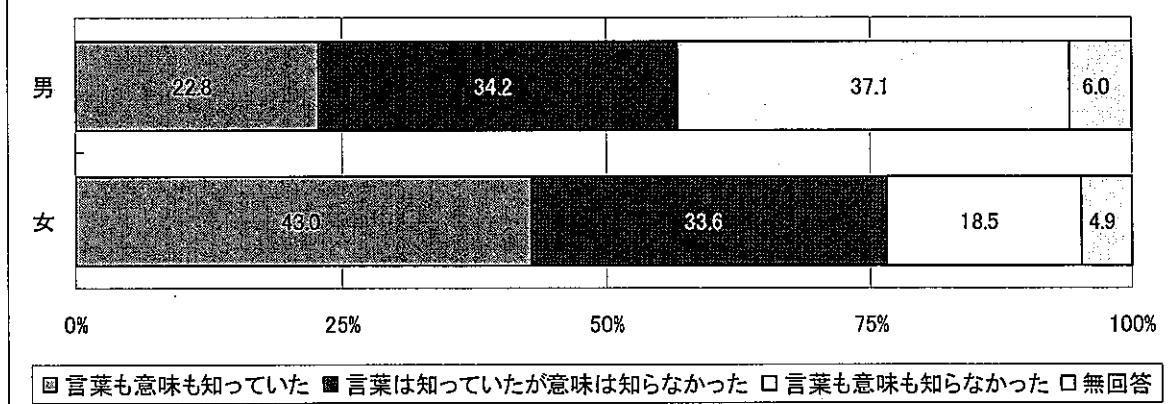
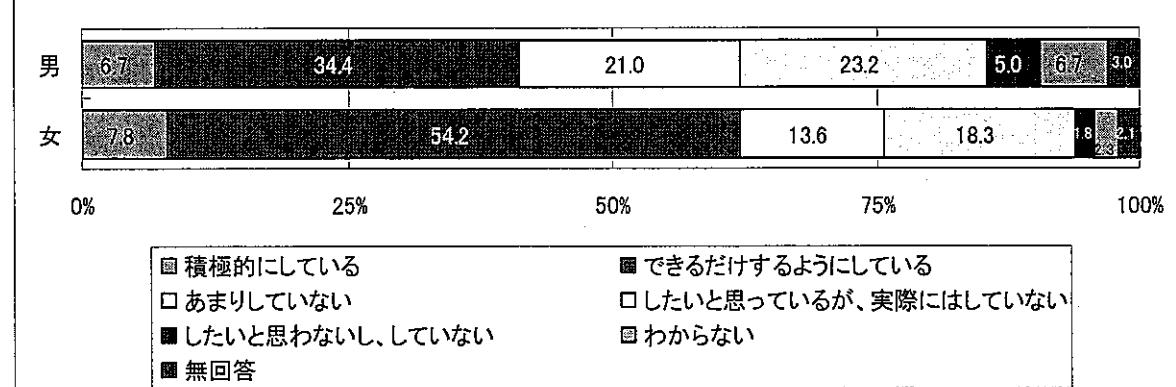


図65-2 「食育」の言葉や意味を知っている人のうち、日頃から「食育」を何らかの形で実践する人の割合(全県・15歳以上・性別)



※「食育」とは自然環境の中で生かされていることを認識して、健全な食生活を実践することができる  
人づくりやみんなが健全な食生活を実践しやすい環境を育てるプロセスです。

朝食の摂取、食事づくりの状況、郷土食の認知、食事バランスガイドの認知、栄養成分表示の利用状況との関連をみると、食育に“関心がある”人ほど、望ましい習慣や行動がみられた。

図66 食育への関心と朝食を毎日食べる人の状況  
(全県・15歳以上・総数)

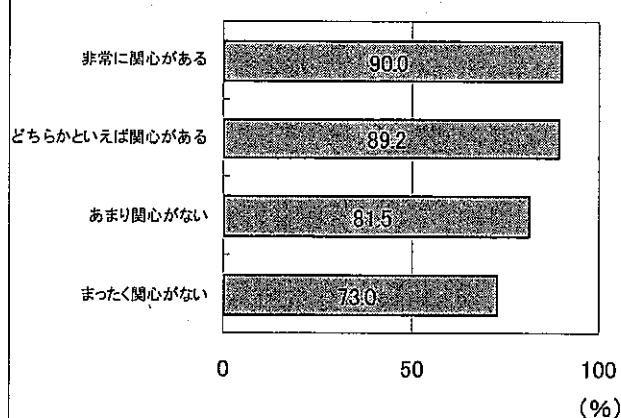


図67 食育への関心と食事づくりの状況  
(全県・15歳以上・総数)

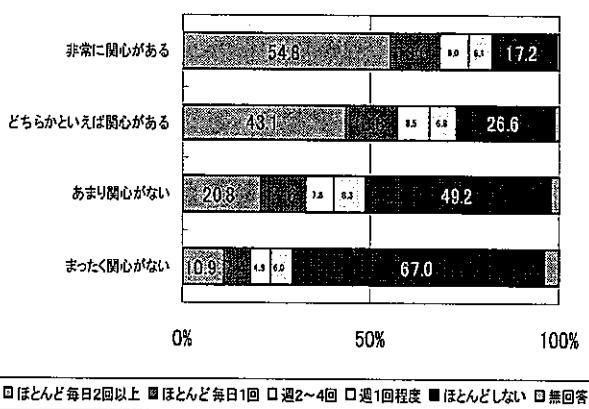


図68 食育への関心と郷土食の認知状況  
(全県・15歳以上・総数)

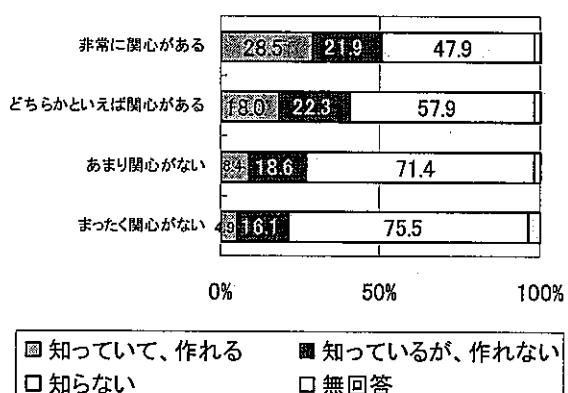


図69 食育への関心と食事バランスガイドの認知状況(全県・15歳以上・総数)

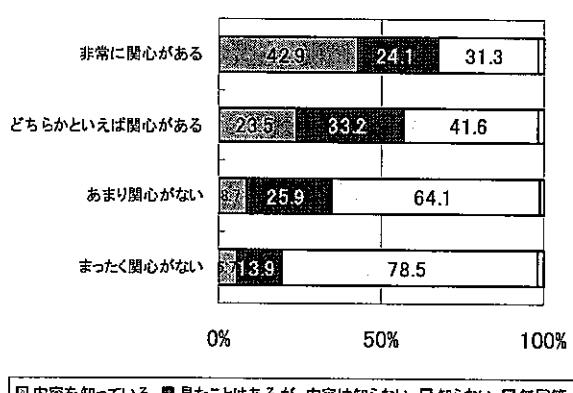


図70 食育への関心と栄養成分表示の利用状況(全県・15歳以上・総数)

